

Sun Ray™ Software 4



ネットワーク時代のデスクトップ・ソリューション



既存のデスクトップ基盤を利用している限り、時代と共に変化する法令／アプリケーション／セキュリティなどの要件に対応していくのは容易ではありません。Sun Ray SoftwareはPCがもたらす複雑性や脆弱性を排除しつつ、付加価値が高く、セキュアで柔軟性に優れたリッチなデスクトップ・ソリューションを提供します。

Sunは常に"The Network Is The Computer"の基本理念を念頭に置き、ユーザがより迅速／セキュアにデスクトップ・ソリューションを実装できるようデスクトップ基盤ソフトウェアを開発してきました。Sunのデスクトップ基盤ソフトウェアはアプリケーションやデータの一元管理を第一に考えているため、単なるPCソリューションではなく、セキュアなエンタープライズ・コンピューティング・ソリューションを実現することが可能です。

Highlights

- 数人のシステム管理者で多数のデスクトップを管理
- クライアントに対するウィルスによる脅威を事実上排除
- データとアプリケーションを一元管理することで、バックアップの効率化／セキュリティの向上／IP保護を実現
- ユーザを一人もしくはグループ単位で管理でき、StarSuite™やMozilla™などのアプリケーションのセッティングを制御
- Microsoft Windows／Linux／Solaris™ OSのデスクトップ画面を表示可能
- 多数のデスクトップで利用されるアプリケーションのアップグレードも数時間～数日間可能
- オフィス／会議室／自宅を問わずに"Hot Desk"が可能
- Sun Ray™ Virtual Display ClientsのファームウェアにVPNクライアント機能を実装。コストをかけずにVPN環境を実現します。

独創的なSun Ray Softwareアーキテクチャ

Sun Ray SoftwareアーキテクチャはSun Ray Virtual Display ClientsとSun Ray Softwareの2つのパートで構成されており、完全な仮想デスクトップ環境を提供し、通常のPCや組み込みOSを持つシンクライアントが必要としている複雑なシステム管理を排除しています。環境にも優しく、低コストなSun Ray Clientsをネットワークに接続するだけで、セキュアなネットワーク・デスクトップ環境が実現します。Sun Ray Softwareは、Sun Ray Server Software／Sun Ray Connector for Windows／Sun Desktop Managerの3つのコア・コンポーネントで構成されています。

Sun Ray Server Software

ネットワーク上のSun Ray Clients毎に異なるコンテンツを送り届ける、いわば放送局の役割を担うのがSun Ray Server Softwareです。たとえば、チャンネル1ならMicrosoft Windows、チャンネル2ならLinux、そしてチャンネル3ならSolaris OSというように各環境を提供します。また、ユーザ・セッションの管理を行うだけでなく、サーバ／クライアント間におけるユーザ認証や暗号化機構も提供します。これによってセキュリティが強化されるだけでなく、IT環境の複雑性を排除し管理業務も削減することが可能になります。Sun Ray Server Softwareはグループ化されたサーバ間でセッションを分散し、自動的な負荷分散やパフォーマンスの最適化を行います。負荷分散処理は、各サーバの負荷やCPUの数や周波数などのキャパシティを考慮して行われるため、大容量サーバや負荷の少ないサーバへ優先的に負荷分散が行われます。Sun Ray Server Software 4に同梱されるSun Ray Virtual Display Clients用のファームウェアで端末をアップデートすることで、端末にVPNクライアント機能が追加されます。これにより高価なVPNルータをクライアント側に導入することなく、VPN環境を構築できます。

Sun Ray Connector for Windows

Windows Terminal Servicesへ直接アクセスができるため、Microsoft WindowsアプリケーションをSun Ray Clientsに表示できます。また、Windows Terminal Servicesのセッション・ディレクトリ機能の利用が可能です。Controlled Access Modeを利用すれば、Sun Ray Softwareアーキテクチャ独自のセキュリティと可搬性の恩恵を享受しつつ、Microsoft Windowsのデスクトップ環境をSun Ray Clientsにフルスクリーンで表示することも可能です。

Sun™ Desktop Manager

システム管理者は、Webベースのツールを使ってSolaris OSのデスクトップ／アプリケーションを集中管理できます。複雑性を削減し管理性を向上できるSun Desktop Managerを利用すれば、デスクトップ基盤に関連したコストを抑制しシステム管理業務を簡素化することが可能です。

Key benefits

IT管理者には…

- デスクトップ環境の保守業務を排除
- 個別のデスクトップ環境に対するOS／ソフトウェア・アップグレードが不要
- シンプルな"Plug-and-Work"セットアップ
- デスクトップ環境を新規アプリケーションに対応させるためのメモリ・アップグレードが不要
- デスクトップ環境の集中管理
- 管理者の設定により、Sun Ray ClientsでUSB対応のメモリ／ハードディスクドライブ／ZIPドライブが利用可能
- 演算リソースの有効活用
- デスクトップ環境の選択肢を提供 (Microsoft Windows／Linux／Solaris OS)
- Sunのサポート／サービス部門によってバックアップされる実績のあるテクノロジー

デスクトップ・ユーザには…

- ネットワーク(LAN/WAN)上の任意のSun Ray Clientsから独自のセッションへアクセスが可能
- フルスクリーンでシームレスにMicrosoft Windowsを利用可能
- 数多くの周辺機器をサポート

Microsoft Windowsのデスクトップ

Sun Ray Softwareは、これまで多くのユーザにセキュアで管理性に優れたデスクトップ環境を提供してきました。そしてSun Ray Connector for Windowsの登場で、そのHot Desk機能をMicrosoft Windowsのデスクトップ環境へと拡張することが可能になったのです。Sun Ray Connector for Windowsを使えば、Sun Ray Clientsのスマートカード・リーダをSun Rayアーキテクチャの2ファクタの認証機構(認証/暗号化)に利用するだけでなく、OutlookなどMicrosoft Windowsアプリケーション向けのデジタル署名を活用することができます。

システム管理者はリモート管理機能を利用し、Microsoft Windowsの問題への対応/セッションの監視/トレーニングのアシスタントなどを行えます。また、複数のデスクトップ環境を利用するユーザは、異なるプラットフォームのアプリケーション間でカット&ペーストすることも可能です。

デスクトップ環境の集中管理

Sun Ray Softwareを利用すれば、システム管理者は適切なユーザに適切なデスクトップを提供することができます。Red Hat Enterprise Linux/SUSE LINUXやSolaris OSのデスクトップを必要としているユーザにも、フルスクリーンでMicrosoft Windowsのデスクトップを利用する必要がある特定のユーザやグループにも適切に対応することが可能です。

Sun Rayアーキテクチャはこれら複数のプラットフォームのデスクトップ環境を、1台の低価格なクライアント・デバイスで提供します。

ユーザがSolaris OSのデスクトップを利用している場合、システム管理者はSun Desktop Managerを使って容易にユーザ環境を構成することができます。Sun Desktop Managerはデフォルト構成値や、各デスクトップ・アプリケーション/デスクトップ環境をユーザが変更できないようにロックされた構成値を割り当てることも可能です。

Sun Desktop Managerは、Solaris 10 OSに付属するデスクトップ環境のGNOMEやSun Java™ Desktop Systemで稼動する様々なアプリケーションも管理できます。これら管理可能なアプリケーションにはStarSuiteオフィス・スイート/Mozillaブラウザ/GNOMEやJavaテクノロジー・ベースのアプリケーションなどが含まれています。

Sun Desktop Managerは標準化された設定用インタフェースを提供するため、システム管理者は使い慣れたコンソールを利用して様々なアプリケーションを効率的に設定できるようになります。メニューのエントリ/デスクトップ・ランチャー/スタートアップ・アプリケーションなども、デスクトップ環境と同様に細かく設定が可能です。

Sun Ray Server Softwareと

Sun Ray Connector for Windowsに

必要な最小構成

- UltraSPARC®またはx64/x86のプロセッサを搭載したサーバ(2CPU以上を推奨)
- インストールに必要なディスク容量:95MB
- ユーザ毎に必要なスワップ容量:50~100MB
- ユーザ毎に必要なメモリ容量:20~50MB(利用するアプリケーションにより変化)

- Sun Ray Serverには最低1つのEthernetポートが必要
- Sun Ray Clients

OS要件

UltraSPARCサーバ

- Solaris 10 11/06以降の各リリース
- Solaris 10 11/06 + Trusted Extensions以降の各リリース

x64/x86サーバ

- Solaris 10 11/06以降の各リリース
- Solaris 10 11/06 + Trusted Extensions以降の各リリース
- Red Hat Enterprise Linux AS 4 update 3 (32bit/64bit)
- SUSE LINUX Enterprise Server 9, Service Pack 3(32bit/64bit)
- Sun Ray Connector for Windowsを利用する場合はWindows Terminal Services

Sun Desktop Manager用サーバの最小構成

- Solaris 10 3/05以降の各リリース
- 200MBのディスク容量
- 1GBのメモリ容量(推奨)

サポート・デスクトップ・アプリケーション

- StarSuite 8/StarSuite 7
- Mozilla 1.7
- Evolution 1.4
- GConf構成管理システムを利用したGNOME 2.6アプリケーション
- Java Preferencesプログラミング・インタフェースを利用したJavaアプリケーション

サポート言語

- 英語/フランス語/ドイツ語/日本語/韓国語/スペイン語/簡体中国/繁体中国語

*MicrosoftのOS製品が提供するターミナル・サーバ機能を利用する場合は、別途ライセンスの購入が必要になります。MicrosoftのOS製品のライセンス条項を参照し、どのライセンスが必要であるかご確認ください。



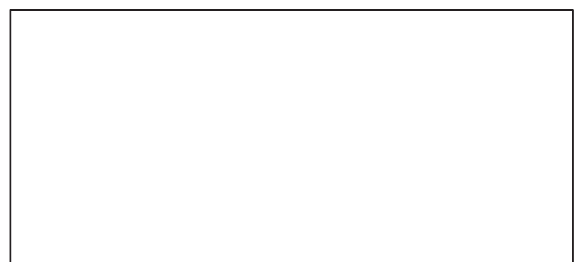
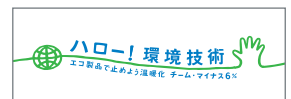
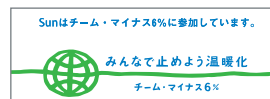
サン・マイクロシステムズ株式会社

本社	〒158-8633 東京都世田谷区用賀4-10-1	SBSタワー	電話(03)5717-5000(代)
山王オフィス	〒100-6160 東京都千代田区永田町2-11-1	山王パークタワー12F	電話(03)4232-2400(代)
神宮前オフィス	〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-4-11		電話(03)5843-1100(代)
名古屋支社	〒460-0008 名古屋市中区栄3-7-22	栄928ビル6F	電話(052)264-4611(代)
大阪支社	〒541-0052 大阪府中央区安土町1-8-15	野村不動産大阪ビル5F	電話(06)6265-5700(代)
九州支社	〒814-0001 福岡市早良区百道浜2-1-22	福岡SRPセンタービル3F 308	電話(092)834-0101(代)
つくば営業所	〒305-0032 茨城県つくば市竹園1-6-1	つくば三井ビルディング11F	電話(0298)51-2210(代)
豊田営業所	〒471-0833 愛知県豊田市山之手5-73-1	山之手ビル7F	電話(0565)25-5701(代)
ホームページ	http://jp.sun.com/		

Sun Microsystems, Inc. 4150 Network Circle, Santa Clara, CA 95054 USA Phone 1-650-960-1300 or 1-800-555-9SUN Web sun.com

© 2007 Sun Microsystems, Inc. All rights reserved. ●Sun, Sun Microsystems, Sunのロゴマーク, The Network Is The Computer, Solaris, Trusted Solaris, Java, StarSuiteは、米国Sun Microsystems, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。●すべてのSPARC商標は、米国SPARC International, Inc.のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC商標がついた製品は、米国Sun Microsystems, Inc.が開発したアーキテクチャに基づくものです。●Mozillaは、Netscape Communications Corporationの商標または登録商標です。●本文中に記載の各社の社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

資料の内容は、お断りなしに変更することもありますのでご了承ください。



本誌は100%再生紙と地球環境に優しい「大豆インキ」を使用しています。

